

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS) 第2回デザインハウス・ワークショップ エコ・エネルギー

【開催日時】

平成18年7月6日(木) 13:00~16:15

【開催場所】

大阪大学 银杏会館 3階 会議室B (<http://www.ichou.or.jp/index.html>)

アクセス方法は裏面参照

【参加費・申込み方法】

参加費無料です。電子メール、FAXにて申込みを受付いたします(申込み先、問合せ先は裏面に記載)

【主催】

文部科学省科学技術振興調整費 大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)

エコ・エネルギーワークショップ

主査: 山中伸介教授 (大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻)

【プログラム】

1. 講演「エネルギーモデルを通して見る地球温暖化対策技術の役割とアジアのエネルギー需給」

講演者: 藤井 康正 東京大学助教授 (大学院新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻)

要旨: アジア地域や世界全体を対象にしたエネルギーモデルのシミュレーション結果等に基づき、省エネルギー、炭素依存度の低い燃料の利用、CO₂回収貯留システムの活用など、各種の地球温暖化対策技術の今後の役割などについての概要を説明する。また、アジアにおける天然ガスを中心とした中長期的なエネルギー需給やその輸送インフラの発展の見通しなどについても俯瞰してみる。

2. 講演「ガスハイドレートの特徴とエコ・エネルギー技術への利用」

講演者: 大垣 一成 大阪大学教授 (大学院基礎工学研究科 物質創成専攻, 太陽エネルギー化学研究センター センター長)

要旨: 水の水素結合で構成されるガスハイドレートは適当な温度・圧力・組成の条件下で安定な固体結晶である。ハイドレート籠の安定性と包接選択性あるいは結晶の構造相転移に関する基礎情報を紹介し、エネルギー資源開発・天然ガスや水素の貯蔵と輸送など「エコ・エネルギー」技術への展開について概説する。

3. 講演「熱エネルギーの有効利用～酸化物熱電変換システムの開発～」

講演者: 舟橋 良次 独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員 (ナノテクノロジー研究部門 ナノ機能合成グループ)

要旨: 熱電変換は発電、冷却両方の観点から省エネ、環境問題の解決に大きな役目を担うものと期待されている。しかし、実用化までには熱電モジュールの信頼性向上や加熱及び冷却源と組み合わせたシステムの構築、低コスト化など多くの難問を解決しなくてはならない。ここでは高温で使用可能な酸化物熱電材料を用いた発電システムの開発について議論する。

【アクセス】詳しくは<http://www.ichou.or.jp/access/access.html> 参照（時刻表へのリンクあり）

1. JR 大阪（梅田） / 新大阪駅より（地下鉄御堂筋線－北大阪急行）
梅田又は新大阪 → 千里中央（終点） 所要時間：梅田から約 20 分、新大阪から約 15 分
【乗り換え ① 大阪モノレール】
千里中央（10 分）→万博記念公園（10 分）→阪大病院前「門真市」行き。万博記念公園駅にて乗換え
【乗り換え ② 阪急バス】
千里中央（15 分）→ 阪大医学部病院前又は阪大本部前，6 番乗り場から「阪大本部前」「茨木美穂ヶ丘」「下井」行き（但し阪急山田経由便は所要 25 分）
2. 大阪伊丹空港より 大阪モノレール，大阪空港（20 分）→ 万博記念公園（10 分）→ 阪大病院前「門真市」行き。万博記念公園駅にて彩都線に乗り換え
3. 京都方面より
 - (1) 阪急京都線南茨木下車。大阪モノレール「大阪空港」行きに乗り換え。
南茨木（5 分）→ 万博記念公園（10 分）→ 阪大病院前
 - (2) JR 茨木駅下車。近鉄バス「阪大本部前」行きに乗り換え。所要時間 20 分



【お申込み・お問合せ】

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 デザインハウス・ワークショップ 参加申込書

EMAIL: yamaguchi@riss.osaka-u.ac.jp, TEL/FAX: 06-6879-4150

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構事務局 担当: 山口

参加者名

ご所属

〒

ご連絡先

電話番号

FAX

EMAIL

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1
大阪大学先端科学イノベーションセンター 先導的研究棟 6F
WEB <http://www.riss.osaka-u.ac.jp/>